



天津市老年人大学 OB 会に幸せの星委託。

天津市は中国の中でも高齢化の先進地であり、高齢者教育の体制が整備された地域の一つでもある。その天津市の高齢者教育の出発点となったのが、1985 年の天津市老年人大学の設置であった。天津市老年人大学の学生数は、設立当初は 4 専攻、552 名であった。しかし、**2006 年度には 114 専攻 267 クラス、8155 名**となっており、現在、「大規模」、「多専攻」、そして「高水準」の総合的な老年大学へと成長している。広大な敷地の中には、運動場、ホール、パソコンルーム、料理や園芸実習のスペース、ピアノや剣道やダンスの練習室、音楽や書道等の自習室、そして教室も 50 室ある等、充実した学習環境が整備されている。

この他、学生の「第二教室活動(放課後の自主的な学習活動)」や「社团(クラブ)」も盛んである。「社团」には、合唱団やダンスチーム、民楽チーム、京劇チーム等、様々なものがあり、大学側は、これらの「社团」をあらゆる面から支援している。こうした活動は、天津市老年人大学で学ぶ学生に対して、学習意欲の喚起、コミュニケーションの促進、学生の才能の披露、大学生生活の充実等、様々な面で重要な役割を果たしている。



天津市老年人大学 OB 会 来日、金さんに幸せの星委託。中国老年に PR 活動期待

